

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1176	(H.25)No.	1176
-----------	------	-----------	------

事務事業名	借上型市営住宅事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	営繕住宅室	市井 清己	

会計区分	事業コード	421601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	借上型市営住宅事業	
項 住宅費	(小事業名)	
目 住宅維持費	借上型市営住宅事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	3	住宅・住環境
	小施策	1	住宅整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
住宅整備に伴うイニシャルコスト及びランニングコストの財政負担の軽減を目指す。また、既存民間賃貸住宅の入居状況を見ながら公営住宅としてのストック数を確保します。		
事業内容		
老朽化した市営住宅の整備方針により、耐用年数を超過した老朽6団地(栄町、朝日町、平尾、丈六、柏原、新田)の用途廃止(解体除却)に伴う代替住宅の整備を既存民間賃貸住宅の借上げ方式により行います。		
H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
朝日町・赤目・鴻之台の住宅借上げ料	朝日町・赤目・鴻之台の住宅借上げ料	朝日町・赤目・鴻之台の住宅借上げ料

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)
	住宅借上げ料 13,482千円 (市営住宅ハイツエイブリッジ) @42,000×8戸×12ヶ月 (駐車場) @1,500×4件×12ヶ月 @1,500×1件×2ヶ月 (市営住宅アドラブル) @42,500×12戸×12ヶ月 (駐車場) @1,500×9件×12ヶ月 (市営住宅コーポジョイフル) @42,000×8戸×9ヶ月 (駐車場) @1,500×7件×7ヶ月	住宅借上げ料 14,562千円 (市営住宅ハイツエイブリッジ) @42,000×8戸×12ヶ月 (駐車場) @1,500×5件×12ヶ月 (市営住宅アドラブル) @42,500×12戸×12ヶ月 (駐車場) @1,500×9件×12ヶ月 (市営住宅コーポジョイフル) @42,000×8戸×12ヶ月 (駐車場) @1,500×7件×12ヶ月

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	13,482千円	14,562千円	14,562千円	14,562千円	14,562千円
内訳(千円)					
国・県支出金	3,292	4,037	4,037	4,037	4,037
地方債					
その他(使用料)	4,158	5,293			
一般財源	(0)	5,232	10,525	10,525	10,525
人工数					
職員	0.36人	0.36人	0.36人	0.36人	0.36人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 2,736千円	2,736千円	2,736千円	2,736千円	2,736千円
①+②総事業費	(0千円) 16,218千円	17,298千円	17,298千円	17,298千円	17,298千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
平成25年度新たに借上型の方式により住宅コーポジョイフル(鴻之台)の供給を行いました。 老朽6団地24戸分の代替住宅は借り上げ方式により3年間で確保することができました。	老朽化している徳明・東田原団地について、政策空き家の状況を見て、今後、住宅ストック数の確保のため借り上げ方式の検討を行います。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	民間施設の活用により、老朽化している市営住宅の整備を進めることができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
借り上げ方式は、住宅整備に際しコスト面で有効な手法であることから、既存民間賃貸住宅の入居状況を見ながら継続して市営住宅のストック数確保に取り組みます。

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
老朽化した市営住宅の整備方針